

# 介護経営のオンラインサロン

## MBA取得者と体系的に学ぶ

運営メンバーは、大平 シニアビジネス支援事業などを行うリンクス(東京都港区)の創業者、酒井 稯氏と共



大平 怜也 代表

今年4月、介護経営者が経営について考え、議論するオンラインサロン「Career Designers Lab」が開設された。経営者が日々ぶつかる課題をトピックテーマに、経営のフレームワークを学びながら意見交換をしていく。介護経営者でありMBA取得者の大平怜也代表に聞いた。

——運営メンバーは大平 シニアビジネス支援事業などを行うリンクス(東京都港区)の創業者、酒井 稯氏と共

に始め、現在は介護経営者50名を超えており、ダイジェストの小規模事業者から、全国に施設を展開する中堅法人の経営者まで様々。

——オンラインサロンを開始した背景は大平 大平 大平、現場の職員から始め、その後、デイや訪問看護などを



▲参加者は数名のグループに分かれ議論する

——具体的にどんなテーマで議論しているか大平 ヒト・モノ・カネを中心に様々な悩みを扱う。先日は「2024年にマイナズ改定

——具体的なイメージが「売りをどうするか」と3C分析などのフレームワークを紹介。また「売りにくいだけかもしれない」と、AIDMA(アイドマ)の法則などを説明した。その後、今一度議論をして

——サロンの特色や得られるものは大平 ターゲットは経営者に絞っている。議論上、唯一の答えはない、経営者はそれぞれ独自の考えがあるだろう。ならば、とにかく多くの人の意見を聞

——今後の展望は大平 年内にサロン加入者100名を目指す。介護業界は小規模法人が大半を占め、業界を担うのはそれら経営者だ。「気持ち」だけでなく経営の「武器」を持った経営者を増やし、業界の未来を変えていきたい。

日本介護ベンチャーコンサルティンググループ 代表取締役 齊藤 正行

### 財政規律と介護保険制度改革

～地域包括ケアモデルの確立に向けて～

## 制度上の課題、議論の行方に注目

数の不満を聞き取ります。今後加算が3種類となることから、各々の計画書や実績報告書の提出が求められ、事務作業の増加に伴う残業の発生、システム導入に伴うコストの発生、更には、書類提出を伴うコストの発生するケースもあり、職員に対する分配率を阻害している一因として、制度や書類の簡素化が望まれています。

また、「特定処遇改善加算」「ベースアップ等支援加算」は、介護職員以外への分配も可能ですが、「介護職員処遇改善加算」は介護職員のみしか分配できないので、多職種が働く介護現場で公平を感じる場合もあります。特に、居宅介護支援

援事業所におけるケアマネジャーに加算が存在しないことは、不満の温床となっています。次期介護報酬改定において、これらの制度上の課題解決に向けた議論も行われることになりそうです。現場の想いを汲み取り、改定を期待したいです。また、岸田政権では「公的価格を見直し介護職の処遇改善を行う」と言及されています。この言及が実現すれば、介護職の処遇改善の議論の推進が注目されます。

——冷凍寿司は、デパ地下にも出店する鮮魚店が製造した本格寿司、機内食メーカーが製造する手まり寿司や焼き鯖寿司など、予算に合わせて選べる。特に本格寿司は、特殊冷凍に

三井物産(東京都千代田区)は8月より、介護施設向け弁当・配食のECサイト「この食」で販売するイベント食を拡充。「冷凍寿司」など全16品を追加した。9月の敬老の日をはじめ、今後の施設イベントで活用できるラインナップとなっている。

介護 Biz

三井物産 施設向け配食サービス 寿司などメニュー拡充

齊藤正行氏プロフィール 2000年3月、立命館大学卒業後、株式会社ササキベンチャーコンサルティング入社。メディア向けケアサービス事業の全国展開開始とあわせて2003年5月に同社入社。現在の運営管理システム、営業スキームを構築し、ビジネスモデルを確立。2005年8月、取締役運営事業本部部長に就任。2010年7月、日本介護福祉グループ副社長に就任。2018年4月、リンクスケアグループ代表に就任。2018年6月、介護業界における横断的・全国的組織となる一般社団法人全国介護事業者連盟を結成。同日本介護ベンチャーコンサルティンググループの代表を務めている。